

住宅を対象とした

平成26年中

侵入盗の実態

愛知県版

住宅を対象としたドロボウの件数が8年連続ワースト1位!!

実態編

caution caution caution caution caution caution caution caution caution

1 愛知県の被害件数は全国ワースト1位

愛知県は、住宅を対象とした侵入盗の件数が平成19年から平成26年まで8年連続「全国ワースト1位」です。

さらに、平成26年はワースト2位との差が約1,400件あり、全国的に見ましても突出した発生が続いています。

住宅を対象とした侵入盗

	空き巣	忍込み	居空き
5,213件	4,095件	923件	195件
前年比-30.2%	前年比-30.6%	前年比-26.8%	前年比-36.5%
全国ワースト1位	全国ワースト1位	全国ワースト2位	全国ワースト5位

住宅対象侵入盗：空き巣、忍込み、居空きの3つを指す
 ○空き巣…留守中の住居に侵入し、金品を盗む手口
 ○忍込み…夜間就寝中などに侵入して金品を盗む手口
 ○居空き…入浴中、食事中などのスキに侵入して金品を盗む手口



2 市区町村別認知件数ランキングと犯罪

1位「一宮市」、2位「中川区」、3位「春日井市」
 あなたの住む街は？〔多発上位50市区町村(名古屋を除く)〕

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
1位	一宮市	361	2.57
2位	中川区	244	2.61
3位	春日井市	221	1.80
4位	緑区	198	2.16
5位	中村区	181	2.59
6位	豊橋市	180	1.27
7位	西区	152	2.25
8位	刈谷市	134	2.24
9位	守山区	133	1.93
9位	豊田市	133	0.81
11位	小牧市	128	2.24
11位	北区	128	1.72
13位	北名古屋市	127	3.83
14位	名東区	118	1.62
15位	豊川市	115	1.74
16位	天白区	113	1.57
17位	千種区	112	1.37
18位	昭和区	106	1.97
19位	稲沢市	101	2.05
19位	岡崎市	101	0.72
21位	港区	98	1.67
22位	あま市	97	3.00
23位	安城市	91	1.32
24位	日進市	86	2.45
24位	江南市	86	2.34

順位	市区町村	認知件数	犯罪率
26位	清須市	84	3.27
27位	犬山市	81	2.90
28位	長久手市	80	3.38
29位	大府市	78	2.23
30位	瑞穂区	73	1.52
31位	西尾市	72	1.26
32位	尾張旭市	65	2.04
33位	南区	64	1.05
34位	東海市	63	1.39
35位	東区	59	1.50
36位	瀬戸市	58	1.15
37位	常滑市	57	2.59
38位	愛西市	54	2.54
39位	豊明市	47	1.72
40位	知多市	44	1.38
40位	中区	44	0.85
42位	半田市	43	0.94
43位	蒲郡市	42	1.42
44位	岩倉市	41	2.16
45位	みよし市	40	1.83
46位	大治町	38	3.22
47位	碧南市	38	1.48
48位	津島市	36	1.52
49位	扶桑町	35	2.76
50位	弥富市	32	2.04
50位	熱田区	32	1.05

犯罪率：1,000世帯あたりの認知件数
 平成26年1月1日現在の世帯数をもとに算出

3 被害の実態

(1) 被害総額及び被害品ランキング

住宅対象侵入盗

	合計	1件当たり
被害総額	約31億7,488万円	約60万9,000円
うち現金被害	約9億9,460万円	約19万1,000円

被害総額は31億円を超え、1件当たりの被害額は約61万円（全国ワースト2位）という多額となっております。
多額の現金は手元には置かず、貴重品等は、持ち出しのできない固定式の金庫等に保管するなどしましょう。



○現金以外の被害品ランキング

順位	現金以外の被害品	認知件数
1位	貴金属・宝石・時計類	1,454
2位	バッグ・財布類	1,082
3位	カード類	921
4位	預金通帳類	520
5位	身分証明証類	398
6位	家電製品類	325
7位	有価証券類	259
8位	娯楽用品類	222
9位	衣料品類	172
10位	外国通貨	62

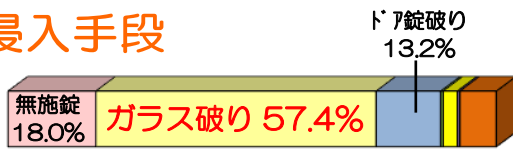
※ 被害品目が複数ある場合は、それぞれ計上しています。

(2) 空き巣と忍込み・居空きの実態

空き巣

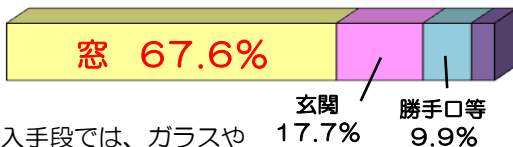
- 前年に比べ認知件数は減少しましたが、未だ全国ワースト1位となっており、全国的に見ても突出した発生となっています。
- 愛知県の特徴として、ガラスやドア等の建物部品を破壊等して侵入する被害が多く、施錠だけでは侵入を防げない現状となっております。
- 夕方から夜にかけての時間帯は、電気のついていない家が留守であるとわかるため、狙われやすくなっていると思われます。

侵入手段



破壊等 約82%

破壊等された侵入か所



侵入手段では、ガラスや玄関等を破壊等して侵入する手口が全体の約82%を占め、破壊等された建物部品は、窓が約68%ですが、玄関の割合も年々増加しています。

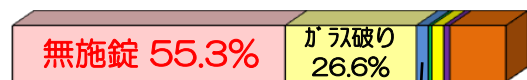
施錠を確実にし、CP建物部品や補助錠等で、建物部品の強化をしましょう。



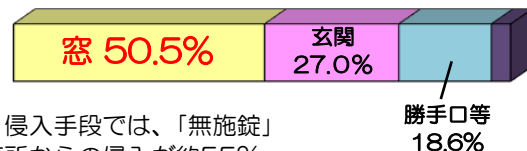
忍込み・居空き

- 前年に比べ「忍込み」「居空き」の認知件数は減少しましたが、「忍込み」は全国ワースト2位の多発手口となっています。
- 「忍込み」「居空き」共に、家人が在宅中に犯人が侵入するもので、侵入に気づいた場合に、強盗や殺人などの凶悪犯罪に発展する恐れがあるため非常に危険です。

侵入手段



侵入口（無施錠）



侵入手段では、「無施錠」箇所からの侵入が約55%と多くなっています。

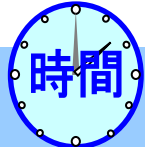





無施錠箇所からの侵入口は、窓、玄関の順ですが、勝手口の無施錠スライド窓を開けて侵入される手口も発生しています。

不在の部屋の施錠や、就寝前の施錠を習慣づけましょう。



1 防犯の4原則

犯罪を防止するための4つの原則、これは「時間・光・音・地域の目」です。この4原則に基づく対策を組み合わせることで、より大きな防犯効果が得られます。

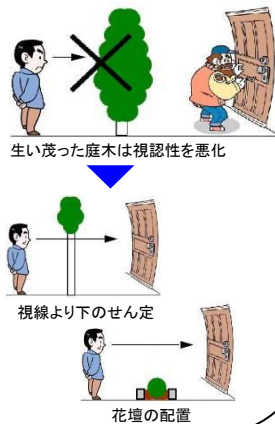
 <p>時間</p> <p>侵入までに時間のかかる建物部品を！</p> 	 <p>光</p> <p>家の周りを明るく！</p> 	 <p>音</p> <p>警報機、防犯砂利で周囲に侵入を知らせる！</p> 	 <p>地域の目</p> <p>住民同士の連携、不審者への声掛けを！</p> 
---	--	---	--

2 防犯環境設計

「防犯環境設計」とは、犯罪企図者に犯罪を「やりにくい」、「やめよう」と思わせる工夫をした建物や住環境の設計のことです。防犯環境設計には4つの基本的な原則（要素）があり、これらを組み合わせて導入することが重要です。

監視性の確保

- 庭木のせん定、花壇の配置、メッシュ柵の活用などにより、自然な監視性を確保する。
- センサーライト、門灯などを配置して夜間の見通しを確保する。

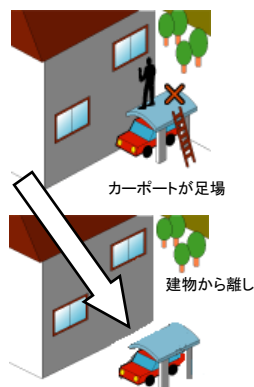


領域性の確保

- 住民同士のあいさつ運動などを展開し、不審者を寄せ付けない環境を形成する。
- 地域のコミュニティを活性化し、地域全体の領域性を高める。



- カギ付の門扉を設置するなど、建物そのものに近づけさせない。
- 塀、カーポート、物置を建物から離して設置したり、エアコンの室外機を窓の下に設置しないなどし、高窓、2階への足場に利用させない。



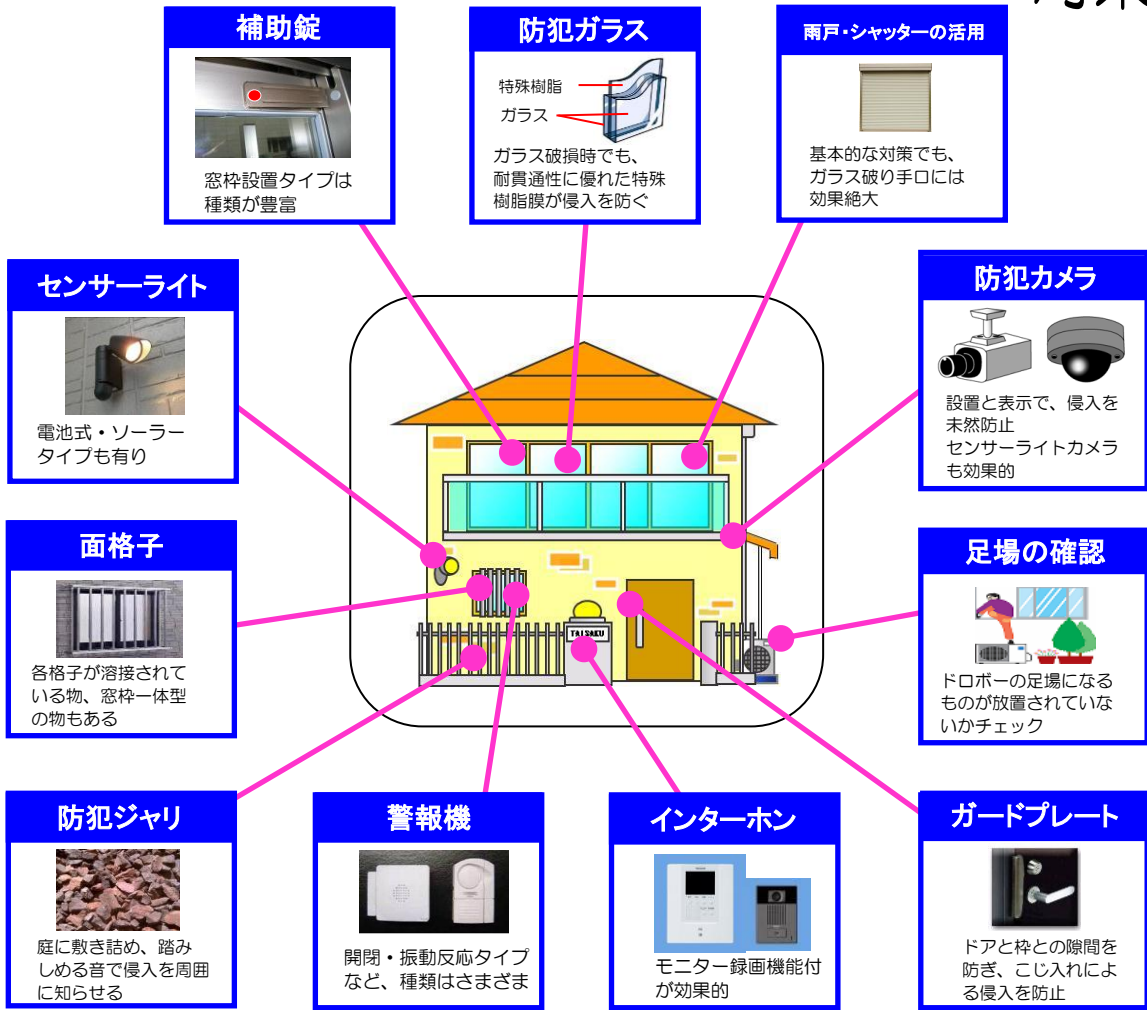
接近の制御



- 「CP建物部品」でドア、窓、面格子などを強化する。
- 補助錠、サムターンカバーなどで、窓、ドアの防犯性を補強する。

対象物の強化

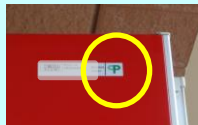
3 具体的な防犯対策



ドロボーと闘う『CP建物部品』って何？



警察庁が国交省や経産省、さらに建物部品関連の民間5団体と共に設置した官民合同会議にて、ドアや窓等の各建物部品について耐性試験、検討を重ね、「侵入までに5分以上の時間を要する」等一定の防犯性能があると評価した建物部品を「防犯性の高い建物部品＝CP建物部品」として公表しました。 ※ CP (Crime Prevention) = 防犯



侵入までに5分かかるとドロボウの約7割が犯行をあきらめるというデータがあります。



★ 身近な犯罪情報、不審者情報は
メールマガジン「パトネットあいち」から
お住まいの地域で発生した犯罪や不審者の情報をタイムリーに
配信します。登録は右のQRコードから！！

